

# 一人一人が安心して学校生活を送るために「留意したいこと」

児童生徒が安心して学校生活を送るためには、一人一人の人権が尊重された雰囲気や環境が重要です。指導者は日頃より以下のことに留意し、あたたかな学習環境をつくっていきましょう。

## (1) 児童生徒との信頼関係を大切にしましょう。



教育活動の大前提は「信頼関係」です。思い込みや先入観、固定観念などに基づく指導者の不適切な言動は、知らず知らずのうちに児童生徒を傷つけたり、思いや考えをおろそかにしたりすることにつながり、「児童生徒との信頼関係」や「保護者との信頼関係」を築く妨げになります。

「児童生徒が安心して相談できる存在」として、指導者は、普段から多面的な児童生徒の理解やコミュニケーションを図ることに努め、願いや思いを受け止められるように心がけましょう。

### CHECK!

- ☐①児童生徒の表情や態度、様子などに注意を払っている。
- ☐②呼名など、言葉遣いに気を配っている。
- ☐③一人になりがちな児童生徒を把握し、適宜声をかけている。
- ☐④児童生徒との会話では、話題に気をつけている。(性的少数・ヤングケアラー等)
- ☐⑤係分担等の役割分担の際、性別にとらわれた決め方をしないよう心がけている。
- ☐⑥失敗等に対する児童生徒同士の不適切な言動を、見逃さずに注意している。
- ☐⑦結果ばかりに固執せず、児童生徒の努力に目を向けるよう心がけている。
- ☐⑧視力等の身体的特徴や友人関係等を踏まえ、座席配置など個に応じた配慮をしている。

## (2) 児童生徒の自尊感情を高めましょう。



児童生徒が一人の人間として大切にされた経験は、自分自身に自信をもち(自尊感情)、学習意欲を高めたり、自分や周囲の人を大切に感じる感覚を身に付けたりすることにつながります。日頃から児童生徒が、一人の人間として大切にされていると実感できるような対応や言葉かけ、そしてよさを見つけようとするあたたかなまなざしなどを心がけましょう。

### CHECK!

- ☐①授業中、授業外を問わず、教師としてあたたかな表情や態度に気をつけている。
- ☐②児童生徒の長所を見つけるよう努めている。
- ☐③一方的な指導にならないよう、児童生徒の言い分を丁寧に聴いている。
- ☐④発表の場では、周りの児童生徒に、最後まで耳を傾けさせるように指導している。
- ☐⑤少数意見を見落とさないように努めている。
- ☐⑥児童生徒の考えや意見を、指導や支援の糸口として生かすよう心がけている。
- ☐⑦全員が参加できるような、学びの場や成功体験の場を意図的に設けるよう努めている。

## (3) 協力しながら指導・支援に取り組みましょう。



指導者同士が互いを尊重し、協力し合う姿勢を示すことは、児童生徒にとって大切な行動モデルになります。児童生徒に求めるものを、まずは指導者が示せるよう努力しましょう。

### CHECK!

- ☐①児童生徒への人権侵害は、「いつでもどこでも起こりうる」ことを前提にしている。
- ☐②児童生徒に関する情報の共有や指導方法の相談など、同僚との連携を密にしている。
- ☐③同僚間で不適切な言動を指摘し合えるような、風通しのよい関係を築くよう努めている。
- ☐④同僚間で、お互いの人権を尊重し合う言動を心がけている。